

平成25年度特別支援学校における医療的ケア運営協議会 第2回協議の要旨(報告)

実施日 平成26年2月12日(水)

特別支援教育課

1 第1回運営協議会の継続課題について

(1) 安心・安全な経口摂取のため開始・実施のためのチェックリスト(案)について

- 事務局が第1回の協議内容をふまえ、「安心・安全な経口摂取の開始・実施のためのチェックリスト(案)」を提示し、これらを基に協議する。
 - ・細かく対応してあるので十分であると思う。
 - ・家庭で安全性が確かめられていないのに、学校ではやってくださいと言われても困難である。家庭にも協力いただいて、最初は一緒に見ていただくなど、保護者と連携してやっていきたい。
 - ・食事介助の確認などの項目があるが、どの程度、どのくらいの頻度で良しとするのかが難しい。
 - ・誤嚥などの状況は医療でしっかり見極めていける。教員がかわった時、本人の体調がかわった時などで、頻度は変わってくると思うので、そのあたりは丁寧に見ていけばよいか。
 - ・チェックリストをどうチェックしていくかが肝心だと思う。事前、事後、実施中なども定期的、計画的にチェックできるといいのではないか。特に教員自身のチェックもしっかりと行えるようにしたい。複数の目でチェックする体制を整えるなどを明記して欲しい。
 - ・みんなで相談できる、チェックできる体制を構築しておいて、少しでも複数の目でおかしいと感じたときは中止する体制を整える、無理をしないことが原則になるのではないか。
 - ・事務局で修正し、次年度から活用することでよいか。

2 医療的ケアの必要な児童生徒の緊急時対応マニュアルの作成・活用のためのチェックリストについて

- 「医療的ケアの必要な児童生徒の緊急時対応マニュアルの作成・活用のためのチェックリスト(案)」を提示し、これらを基に協議する。
 - ・緊急時対応マニュアルに必要な情報がしっかり入っているかももう一度確認するには、指標として役にたつのではないか。
 - ・実際に救急車を先日呼んだが、実際にやってみると、緊急時対応マニュアルに足りない部分があったことに気づかされた。このようなチェックリストを活用して、見返していきたい。また、実際の動きを想定して作成していきたい。駐車場所などは、本当に実際の場面を想定して検討しておかないといけないと感じた。搬出方法等もその子や学校の状況に応じて検討できると良い。
 - ・AEDを医ケア生の教室の近くにおいてあるが、複数ない、活動場所に一つはあるとありがたい。
 - ・マニュアルがあると思考が停止してしまうこともある。想定外のことが起きたときにどう行動するかを訓練の中に入れておくこともよいのでは。
 - ・緊急時搬送先の病院との連携について、地域の中で重度のお子さんを育てていくことなので、学校と家庭と、医療がしっかりと連携してけるようにしていきたい。
 - ・喉頭気管分離をしているかどうかも今後、大きな情報になっていくと思う。
 - ・救急車に持ち込む物品が、マニュアルに記載されていなかった。
 - ・薬の内容や量の変更について、その都度、保護者も報告するようなことを徹底していきたい。